

学校教育目標「とよふさの子の育成」の 4 つの柱をもとに、各教科の指導を通して、教育目標の具現化を図っていく。

【めざす子ども像】

「わかった」ことを自分の言葉で表現できる子

【研究主題】

自分の考えを表現できる子の育成を目指した授業改善

【研究方法】

(1) ①授業研究の実施

- ・研究教科は指定せず、研究主題に沿って、授業実践を行う。
- ・授業実践での研究では、上学年・下学年のグループ研修を取り入れながら行う。

＜授業研究＞

- ・研究テーマに即した授業実践を指導室訪問で行う。
- ・夏休み中に指導案を指導主事等にご指導いただく。

②授業改善のアプローチとして行っていきたいこと

◇板書記録の共有 … 1 teacher での共有（写真箱→☆R7 年度→板書を共有★2025）

◇授業のノートの共有 … 学期に 1 回のノート展

(2) 学力向上への取り組み

①自分の言葉でまとめを書く。

授業のまとめやふり返りの活動を充実させ、本時の学びを自分の言葉で書けるようにする。

学年や実態に応じて、以下のステップを踏みながら自分の言葉で書けるようにする。

ステップ 1	先生と対話しながら
ステップ 2	（かっこ）に当てはまる言葉を考えながら
ステップ 3	書き出しに続く言葉を考えながら
ステップ 4	本時の学びを自分の言葉で

※ふり返り活動の充実

できたことや分かったこと、考えたことや新しい気付きなどを書く。

②学習の基礎基本・読解力の育成

月	火	水	木	金
朝読書	朝学習	朝学習	読み聞かせ	読解力タイム
語彙の習得	知識・技能の習得	知識・技能の習得	語彙の習得	読解力の育成

③その他

・豊房小オリンピック（2 回）・・・基礎学力定着テスト（漢字・計算）

＜第 1 回…夏休み～9 月中旬 第 2 回…冬休み～1 月中旬＞

・ちばっこチャレンジ週間（2 回）・・・ちばっこチャレンジ 100 の活用問題

＜6 月・2 月に実施＞